

企 画 振 興 課

1 市町村行財政運営

地方分権時代にふさわしい自主・自律的な自治の確立を求められている市町村において、地域住民との協働を図りつつ、透明性の高い行政運営、健全な財政運営が行われるよう、定員管理、給与実態、財政状況などの各種調査を通じて、各団体の状況を把握するとともに、必要に応じて助言を行っている。また、広域行政についても、上田地域広域連合や上田地域定住自立圏が主催する各種会議への参画等を通じ、必要な助言や情報提供を行っている。

区分		上田市	東御市	長和町	青木村	県内市町村 平均	
職員数	人	986	234	77	46	-	
平均給与月額	百円	3,224	3,077	3,202	3,125	3,146	
	平均年齢	歳	41.8	41.2	42.9	43.3	-
ラスパイレス指数		99.5	98.8	98.2	93.9	97.5	
歳入総額	千円	80,286,444	18,891,074	6,961,501	3,469,874	15,783,521	
	市町村税	千円	21,159,250	4,027,864	716,560	402,021	3,829,957
	比率	%	26.4	21.3	10.3	11.6	24.3
	地方交付税	千円	15,751,801	4,852,433	3,080,899	1,763,444	3,818,208
	比率	%	19.6	25.7	44.3	50.8	24.2
歳出総額	千円	77,219,580	17,922,803	6,638,688	3,281,225	15,049,744	
	人件費	千円	12,123,972	2,920,288	887,819	740,443	2,337,470
	比率	%	15.7	16.3	13.4	22.6	15.5
	公債費	千円	6,796,051	1,965,124	763,833	188,495	1,361,566
	比率	%	8.8	11.0	11.5	5.7	9.0
標準財政規模	千円	41,150,324	9,464,979	3,880,495	2,248,811	8,376,465	
地方債現在高	千円	66,623,907	19,094,583	6,351,021	1,745,335	12,230,092	
積立金現在高	千円	21,255,841	4,663,641	3,068,225	1,961,274	5,944,850	
	財政調整基金 現在高	千円	4,073,814	1,608,009	1,700,064	1,032,439	2,155,901
財政指標	経常収支比率	%	85.5	91.8	82.7	76.0	82.9
	実質公債費比率	%	5.3	7.5	11.4	7.1	6.1
	財政力指数		0.59	0.49	0.23	0.23	0.39

(注) 1 「職員数」、「平均給料月額」、「平均年齢」については、「令和4年地方公務員給与実態調査」による一般行政職員(企業職員等を除く)の数等である。

2 「歳入総額」以下の財政状況の各項目については、「令和3年度決算統計調査」による。

2 地域振興

(1) 地域振興推進費

地域振興局長のリーダーシップのもと、他の現地機関と連携調整を図りながら、地域課題の解決や地域の活性化等に向けた取組を実施する。

【 令和4年度実績 】

1 移住に結びつく人と知の流れの創出と地消地産や産業振興による地域の活性化				
① 多様な人材の移住・定着・交流促進による地域を担う人材の育成・確保				
事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
若者の地域への就業促進	キャリア教育の普及・拡大を図るため、中学校における産学官協働のキャリア教育（職場体験学習、企業の職場インタビュー）の実施を支援することを通じ、若者の地域での就業を促進する。	880	<ul style="list-style-type: none"> ・（株）コミュニケーションズ・アイに委託し実施した。 ・上田市内の2つの中学校において、事前学習会を1回、職場体験を2日間ずつ実施。 ①上田市立第五中学校（2学年 在籍162人） 事前学習会・・・6月28日に実施 職場体験・・・7月13日、7月14日に実施 （※受入事業所数/54者） ②上田市立第二中学校（2学年 在籍100人） 事前学習会・・・7月8日 職場体験・・・7月19日、7月20日に実施 （※受入事業所数/38者） ・上田地域の76者の事業所に職場体験の受入をしていただけ、事業実施後のアンケートでは、地元で働くことへの興味が高まった生徒の割合は、74%となった。 	商工観光課
上田地域移住・交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・上田地域を含む東信エリア全体の魅力について、移住や交流による地域活動にフォーカスした情報発信やイベントの開催 ・市町村毎に活動する移住アドバイザーや信州暮らしパートナーの活動のバックアップ ・アンケート調査を補完する定性情報の収集や、市町村毎の人口動態、他の定量情報分析を行う。地域PRは県の関連機関との連携強化に取り組む。 	94	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は20代から60代まで幅広い世代の女性が参加したセミナーとなり、40代以上の世代が過半数以上を占めた。アンケートに回答した者については、過半数（57.1%）が首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県）在住、半数が会社員またはパート・アルバイトなどの職業に就いている者だった。 ・セミナーでの質疑応答やアンケート結果からは、移住後の仕事や住居の確保に関心の高さがみられた。 ・女性に限定した移住セミナーを初開催したことで、女性と一括りにできない事情を知ることができた。 	企画振興課
上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学との連携により、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーを開催し、両校の魅力発信と地域人材の育成に繋がる取組を行う。	95	<ul style="list-style-type: none"> ・上田女子短期大学と連携し、上田女子短は「心理学」、工科短期大学は「ものづくり」をテーマに中学生を対象としたキャンパスツアーを令和4年7月26日に実施した。参加者は当初3校22名を予定していたが、新型コロナの影響により2校10名の参加となった。参加した中学生からは学生生活や学習内容への関心、将来の夢のきっかけとなることの期待などの思いが寄せられた。 ・企業セミナーは1学年全員を対象として89社の企業の参加のもと令和5年1月26日に実施した。学生は地元企業や県内企業の情報情報を得ることにより就職先の具体的な検討ができ、2学年に向けた準備のよい機会となっている。 	工科短期大学校
② 地消地産の推進				
農産物直売所魅力アップ支援事業	直売所の魅力アップを図るため、直売所の課題（会員拡大・栽培拡大・集客拡大）解決に向けたコーディネーター相談、セミナー開催、出荷量・品質確保に向けた指導会、出荷会員の勧誘を支援	50	<ul style="list-style-type: none"> 農産物の品揃えと新たな出荷者の確保に焦点を絞った先進的な取組事例発表等に学ぶセミナーが開催できた。 ②管内最大規模の農産物直売所の栽培情報の発行支援を毎月実施。 ③直売所コーディネーター相談については、長野よろず支援拠点と連携し、1直売所に対して、6月、11月、2月の3回店舗改善支援を実施。 魅力アップセミナーの若手農業者による事例発表から、消費者の反応が直接得られること、パッケージの工夫ができることに改めて気づかされた。また、冬場から春先にかけての端境期の陳列棚の品揃えについて、秋野菜の貯蔵方法の工夫により確保（困り野菜）できる可能性を今後探ることとなった。 	農業農村支援センター

③ 基幹産業へのステップに向けたワイン振興				
事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーの開催、スマート農業の普及に向けたお話し体験を実施	46	<ul style="list-style-type: none"> 生産者技術セミナーは、1月に屋内での栽培技術及び病害虫防除に関する研修会を、2月にはワイン用ぶどうほ場で粗皮剥ぎ作業や無煙炭化器の実演会を合わせて開催した。参加人数は当初の目標を上回る参加があり、関心の高さが窺えた。また、アンケート結果から継続実施の希望が高いことが分かった。労力負荷軽減につながるアシストスーツお話し体験は、体験会を1回実施できた。 セミナー開催時のアンケート結果(回収率100%:32名)から今回のセミナーが役立ったかの問いに、「大いに役立った」に20名、「まあまあ役立った」に12名の回答を得た。また、アンケートを通じて、引き続き、栽培技術や病害虫対策についての開催要望が強いことや、経営の中では、労働力不足である課題等を確認することができた。 	農業農村支援センター
上田地域ワイン販売促進事業	贈答用としてワインの活用を促すチラシや販売情報をまとめたリーフレットを作成・配布し、ワイン文化の定着及び消費拡大を図る。	1,254	<ul style="list-style-type: none"> ワインのギフト活用を提案するチラシを作成し、11月27日(日)の朝刊折込により管内4市町村の約56,000世帯に配布。掲載者の7割から、広告効果による売上があり、新規客の獲得につながったとの回答があった。 管内の生産者の販売情報をまとめたリーフレットを5,000部作成し、県民利用施設や県内外の観光施設等に配布。また、生産者や酒販店には産地PRフライヤーを配布し、ワインに添えるなどして活用していただいた。 	商工観光課
④ 林業振興と東信カラマツの販路拡大				
にぎやかな森プロジェクト	東信カラマツや森林認証材の活用促進を図るため、首都圏自治体や企業等に対するPR活動を行う。	996	<ul style="list-style-type: none"> ①調査研究活動の成果に関する勉強会・報告会を開催し、地域の企業や関係団体に普及啓発できた。 <ul style="list-style-type: none"> 森林CO2吸収評価勉強会(R4.9.12開催)13者(28名) 調査研究報告会(R5.3.15リアル&WEB開催)29者(66名) ②啓発・PR活動を通じ、趣旨に賛同する企業10社と森林の里親協定を締結した。(締結式3回開催) 	林務課
2 地域資源の活用・磨き上げによる観光振興(観光地域づくり)				
① 地域資源の磨き上げ・情報発信				
上田地域広域観光推進事業	<ol style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンの実施 コロナ禍で落ち込んだ観光需要を喚起するため、市町村、観光協会等と企画・運営を連携したキャンペーンを実施する。(夏、秋、冬) 観光情報の発信 観光誘客促進のため、観光プロモーション動画をコンテスト形式で公募し、話題性づくりと新たな感性・視点による上田地域の魅力を国内外へ発信する。(個人、法人は問わない) ヘルスツーリズム等の推進 体験・滞在・周遊型観光の推進のため、健康をテーマとしたヘルスツーリズムとともにサイクルツーリズム、ワインツーリズムやリゾートテレワークなどを信州上田地域健康パーク推進協議会を開催して総合的に検討し、ライフスタイルの変化に応じた観光コンテンツの充実を図る。 	1,056	<ol style="list-style-type: none"> 観光キャンペーンの実施 <ul style="list-style-type: none"> 夏 R4.7.19~20 東京都銀座NAGANO(250名) 秋 R4.10.26 山梨県談合坂SA(90名) 冬 R4.12.19~20 大阪府大阪駅前第一ビルB2F(433名) 市町村、観光協会と協力し、計3回の観光キャンペーンを行った。観光・特産品のPRに加え夏はワインの試飲、秋は農産物の販売、冬は特産品の無料配布を行い、広く上田地域のPRができた。 観光情報の発信 上田地域観光プロモーション動画コンテストを開催し、令和4年10月21日から令和5年1月31日まで募集した。応募のあった9作品から受賞5作品を選定し、商工観光課公式YouTubeチャンネルに掲載した。またインバウンド用に受賞作品を英訳した動画を作成・掲載した。 ヘルスツーリズム等の推進 コロナ禍、物価高騰などによる観光産業への打撃また全国旅行支援など各種支援策による早急な観光需要の回復が、信州上田地域健康パーク推進協議会の主たる構成員である観光事業者にとって優先課題となることから未開催とし、協議会を通じた取組み事例の集約を行った。 	商工観光課
② アフターコロナを見据えたインバウンド誘客対応				
上田地域広域観光推進事業<再掲>	(再掲のため省略)			商工観光課

3 ゼロカーボンの推進による持続可能な脱炭素社会づくり

① 太陽光・小水力発電等の普及啓発や、具体的な実践に繋がるゼロカーボンの取組の情報発信

事業名	事業概要	事業費(千円)	実績・成果	担当課
上田地域でのゼロカーボン推進のための情報発信	ゼロカーボンの取組を地域に広げ推進していくため、学びのための環境づくりとして、管内企業等のゼロカーボン推進に係る取組事例を取材し、動画作成、配信を行う。	990	<ul style="list-style-type: none"> 以下のテーマで動画を4本制作し(1本につき8分~14分程度)、地元ケーブルテレビ局の番組として、R4年11月からR5年2月にかけて延べ40回放映した。 ①「地球温暖化って何?」(放送回数:8回) ②「上田地域の取組~上田市シェアサイクル~」(放送回数:8回) ③「日置電機 理念通して持続可能な社会に」(放送回数:12回) ④「上田市市民エネルギー 相乗りで太陽光発電」(放送回数:12回) ・長野県ブログ「しあわせ信州」YouTubeチャンネルに制作した動画4本を登録し、広く周知を図った。	環境課

4 新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守り、産業の下支えとコロナ禍からの復興

① 新型コロナウイルス感染症から県民の暮らしを守り、産業の下支えとコロナ禍からの復興

上田地域広域観光推進事業<再掲>	(再掲のため省略)			
世代別健康に配慮したメニューの普及	健康に食べることの普及啓発のため、世代別に健康に配慮した料理のレシピと実践のための情報をまとめた媒体(チラシ、テレビ番組)を活用し、料理の実演や講義を通して普及を行う。	340	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、普及講習会は思うように開催することができず、目標実施回数は達せられなかったが、企業・公民館・保育所・学校等との連携により12回実施することができた。(子育て世代2回、若い世代・高校生1回、働き盛り世代2回、シニア世代7回) 講習会の実施時間を短くする必要があるが、講習会実施後のアンケートの実施が困難であったが、回収できた47名のうち、「食生活に気をつけようと思った」・「少し思った」と回答した者は43名(91.5%)。「日頃食生活に気をつけていない」と回答した10名のうち、9名が「食生活に気をつけようと思った」と回答し、食生活改善のきっかけとなったと考える。 ケーブルテレビによる普及啓発は予定どおり8回実施し、放送の他に、ホームページでの発信も行った。 本事業を5年にわたり実施し、企業や学校、地域の公民館との連携を図ることができた。 集合での講習会が実施しにくいコロナ禍では、ケーブルテレビやホームページからの情報発信は有効であった。 世代別の健康に配慮したメニューや実践方法を掲載したリーフレットを作成し、それをもとに普及啓発活動を進めた。リーフレットは栄養士会の活動だけでなく、市町村の乳幼児健診や健康づくり事業などでも活用され、市町村の保健活動の支援にもつながっている。(作成したリーフレット6種類 配布部数約7,700部) 	保健福祉事務所
健康長寿の運動セミナー	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進と、運動を自発的かつ習慣化することによる健康の維持を図るため、各種団体等に働きかけ、働き盛り世代やシニア世代等を対象とした運動教室の支援や講座を開催する。	243	<ul style="list-style-type: none"> ①運動教室への講師派遣事業 主催団体のニーズに応じた講師の派遣ができた。コロナ感染拡大防止のため3件(申込全6件中)が中止となった。 ②健康運動の動画制作・配信 当所の公式YouTubeチャンネルにて、健康動画を配信し視聴者の運動促進を図った。配信動画の視聴者から動画内 容を講座で扱ってほしいという依頼があった。動画講師による運動教室開催へのつながりが期待できる。 ③運動用具の整備及び貸出 当所ホームページやチラシでの宣伝を行ったことで、小諸まで借りに来る団体が増えた。 ④ポールウォーキング講座 上田市塩田地区の文化財を、ガイドを受けながら巡るポールウォーキング講座を開催した。講師2人を派遣し、参加者から高い満足度を得られた。 	東信教育事務所
合 計		6,044		

【 令和5年度計画 】

事業名	事業概要	担当課
1 上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり		
① 地域と一体となった観光需要の回復		
上田地域観光振興事業	<p>1 観光キャンペーンの実施 観光需要を喚起し、認知度の向上を目指し、市町村や観光協会等と連携したキャンペーンを実施する。</p> <p>2 観光客同行調査 コロナ禍で変化した観光スポット・来訪者を改めて洗い出し、効果的なPRを行うための調査を行う。</p> <p>3 観光地域づくり講演会（セミナー）開催事業 市町村及び観光関係者を対象にマーケティング戦略や情報発信力の向上に向けた講演会等を開催する。</p> <p>4 サイクルツーリズム醸成 Japan Alps Cycling Roadの公表にあわせて上田地域のレンタサイクルの提供場所や自転車利用の注意事項（マナー等）を周知するとともに、サイクリストの受け入れ体制を整えるため、リペアキットを上田地域の「道の駅」に配置する。</p>	商工観光課
【松本地局実施】 信州まつもと空港発 レンタカー利用促進 キャンペーン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・松本空港を利用して来県する旅行者のうち、レンタカー利用者に対し、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るため、令和3年7月から観光パスポート「信州まつもと空港発 「レンタカーDeぐるっ得パス」」を配布している。 ・有効期限が令和6年3月31日までのため、対象エリアの見直しや店舗追加等パスポートのアップデートを図るもの。 ・上田地域を対象エリアに追加するに伴い、店舗数に応じた費用を上田地局で負担する。 	松本地域振興局企画振興課
農産物直売所魅力アップ支援事業	取扱品目や出荷者の拡大支援に加え、集客力の拡大に向け、上田地域の直売所に共通する課題の解決を目的とした事業とともに、農業と観光業を“つないだ”情報発信アイテムを作成する。	農業農村支援センター
2 地域を支える産業のグレードアップ		
① 持続可能な産業の実現に向けた取組		
にぎやかな森プロジェクト	持続的な森林経営に向けて上田地域の森林の付加価値を高めるため、調査研究・評価により東信カラマツや森林に係るデータの見える化を図るとともに、地域の林業経営者等へ成果を普及啓発する。	林務課
求職者・就職困難者等に対する就労サポート事業	上田地域での就労促進や産業人材の確保のため、特に女性を対象とした就労等に関する相談会やセミナーを実施するとともに、就労支援制度に関する情報提供等を行う。	商工観光課
伝統的工芸品の魅力発信・再発見事業	上田地域の伝統的工芸品の価値や魅力を発信・再発見するために、各種展示会やブログを通じて広く周知するとともに、販売促進等を行う。	商工観光課
上田地域の短期大学との連携による地域で活躍する人材定着促進事業	上田女子短期大学と連携して、上田地域の中学生を対象としたキャンパスツアーの開催やイベントの共同広報を行うことで、4年制大学にはない両校の魅力を発信し、地域産業を支える人材の育成につなげる。	工科短期大学校
② 世界基準を見据えたワイン産地づくり		
上田地域ワイン振興事業	<p>1 新聞折込広告の実施 ワインのギフト活用を提案する広告を作成し、11月末に新聞折込により上田地域の4市町村の新聞購読世帯約56,000世帯に配布する。</p> <p>2 販売情報リーフレットの増刷 R4年度発行分の在庫がなくなるため増刷を行う。</p> <p>3 首都圏でのワインイベントの開催 赤坂離宮迎賓館（東京都）において上田地域のワイン等の販売を行い、首都圏での認知度の向上を図るとともに、観光情報の発信を行い、ワインを基軸とした観光誘客を行う。</p>	商工観光課
ワイン用ぶどう生産支援事業	ワイン用ぶどう栽培者の経営安定やワインの評価につなげるため、原料ぶどうの品質と収量の向上につながる栽培技術の指導・支援に取り組む。	農業農村支援センター

事業名	事業概要	担当課
3 穏やかに暮らし続けられる地域づくり		
① 医療・福祉の充実、健康づくりの推進、子育て・子育て支援		
棚田の学校子育て支援事業	日本の原風景である棚田での農業体験等について、発達障害や不登校児童が社会とふれあう場としての活用方法を検討するため実証実験を行い、課題の抽出を行う。	農地整備課
健康長寿の運動セミナー	成人の運動実施率の向上と健康長寿の延伸を目指して、ニーズに応じた運動講座の開催や各種団体等が主催する運動教室開催の支援を行い、運動習慣の定着や健康増進活動の促進を図る。	東信教育事務所
② 移住の促進、つながり人口の創出・拡大		
和田宿移住生業づくり協働事業	<ul style="list-style-type: none"> ・長和町では移住者の受入環境が十分とはいえないことから（一時的な住まい、仕事の選択肢、若者が集まる場がないなど）、旧和田中学校を活用し、R5年度に信州暮らし推進課が実施する「共創人口構築事業」を進めるとともに、当該事業で必要となる部材等を購入する。 ・旧和田中学校に宿泊や食事、生業づくりのための拠点機能を持たせ、長和町におけるホットスポット化を目指す。 	企画振興課
4 持続可能な脱炭素社会の地域づくり		
① 持続可能な脱炭素社会に向けた取組の推進		
上田地域でのゼロカーボン推進のための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンの取組をさらに地域に広げ推進していくため、上田地域で先進的・継続的にゼロカーボンに取り組んでいる事業者を講師に迎えて講演会等を開催する。（R4年度に制作した動画の上映会も同時開催） ・併せて、普及啓発活動を目的としたチラシやグッズ等を作成し、配布する。 	環境課

(2) 地域発 元気づくり支援金

市町村や公共的団体が住民とともに自らの知恵と工夫により、自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対し、必要な経費を支援する。

【 令和4年度実績 】

次のとおり、33団体に対し、34件、57,501千円の支援を行った。

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
1 地域協働の推進	2	3,221
2 保健、医療、福祉の充実	2	790
3 教育、文化の振興	10	15,445
4 安全・安心な地域づくり	1	168
5 環境保全、景観形成	4	6,986
6 産業振興、雇用拡大 小計	15	30,891
6-1 特色ある観光地づくり	7	16,613
6-2 農業の振興と農山村づくり	2	2,423
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0
6-4 商業の振興	1	1,546
6-5 その他	5	10,309
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	0	0
合 計	34	57,501

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	件数	金額
市 町 村	2	6,068
上 田 市	1	4,352
東 御 市	0	0
長 和 町	1	1,716
青 木 村	0	0
広 域 連 合	0	0
公 共 的 団 体	32	51,433
合 計	34	57,501

【 令和5年度採択状況 】

36団体から41件、83,663千円の要望があり、次のとおり事業の選定を行った。

令和5年6月1日現在

ア 事業区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
1 地域協働の推進	7	21,033	5	16,072
2 保健、医療、福祉の充実	5	5,821	3	4,304
3 教育、文化の振興	8	15,391	6	9,722
4 安全・安心な地域づくり	1	893	1	893
5 環境保全、景観形成	3	1,705	3	1,705
6 産業振興、雇用拡大 小計	14	32,971	12	25,678
6-1 特色ある観光地づくり	6	15,518	5	10,692
6-2 農業の振興と農山村づくり	3	7,489	2	5,022
6-3 森林づくりと林業の振興	0	0	0	0
6-4 商業の振興	2	3,307	2	3,307
6-5 その他	3	6,657	3	6,657
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	0	0
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	5,849	1	558
合 計	41	83,663	31	58,932

【再掲】重点的に推進するテーマ

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
【県全域重点テーマ】	5	11,307	5	11,307
女性若者から選ばれる県づくり	5	11,307	5	11,307
2050ゼロカーボンに向けた取組の推進	0	0	0	0
【地域重点テーマ】	30	67,559	22	44,205
若者・女性・外部人材の活躍の推進	3	2,644	3	2,644
世代・地域を越えた交流の推進	8	15,441	5	11,776
地域の強み・資源を生かした産業の振興	10	24,915	9	22,448
地域との交流を促す魅力ある観光地域づくり	9	24,559	5	7,337
住環境整備と魅力発信による移住推進	0	0	0	0
合 計	35	78,866	27	55,512

イ 申請者区分別

(単位:件、千円)

区 分	要望		採択	
	件数	金額	件数	金額
市 町 村	6	17,031	2	1,625
上 田 市	2	5,323	1	497
東 御 市	0	0	0	0
長 和 町	3	9,241	1	1,128
青 木 村	1	2,467	0	0
広 域 連 合	0	0	0	0
公 共 的 団 体	35	66,632	29	57,307
合 計	41	83,663	31	58,932

3 地方創生

本格的な人口減少社会を迎える中、将来にわたって地域の活力を維持していくため、地域再生法に基づく交付金の採択に向けた助言等の支援を行った。

令和5年5月1日現在

【 地方創生関係交付金 採択状況 】

(単位：千円)

市町村名	推進交付金			拠点整備交付金		
	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度	R3年度	R4年度
上田市	98,402	82,800	77,545	0	0	0
東御市	8,250	6,050	500	223,900	2,150	0
長和町	6,000	0	0	181,835	0	0
青木村	6,250	6,400	6,750	0	0	0
計	118,902	95,250	84,795	405,735	2,150	0

4 選挙

令和4年7月10日執行の参議院議員通常選挙及び令和4年8月7日執行の長野県知事選挙等に際し、県及び市町村選挙管理委員会と連携して適正な管理執行事務を行うとともに、より多くの投票参加が図られるよう啓発事業を行った。

(1) 最近の執行状況

ア 参議院議員通常選挙（令和4年7月10日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 R1〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	62,454	65,953	128,407	34,968	36,317	71,285	55.99	55.06	55.51	54.68
東御市	12,237	12,509	24,746	7,258	7,316	14,574	59.31	58.49	58.89	56.91
長和町	2,527	2,571	5,098	1,709	1,705	3,414	67.63	66.32	66.97	66.05
青木村	1,755	1,867	3,622	1,206	1,282	2,488	68.72	68.67	68.69	67.80
管内計	78,973	82,900	161,873	45,141	46,620	91,761	57.16	56.24	56.69	55.70
県計	836,517	884,852	1,721,369	488,453	504,861	993,314	58.39	57.06	57.70	54.29

イ 長野県知事選挙（令和4年8月7日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率 (%)			参考 〔前回 H30〕
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,938	65,450	127,388	23,356	25,577	48,933	37.71	39.08	38.41	41.50
東御市	12,102	12,406	24,508	5,022	5,278	10,300	41.50	42.54	42.03	44.25
長和町	2,504	2,555	5,059	1,348	1,383	2,731	53.83	54.13	53.98	55.34
青木村	1,730	1,846	3,576	987	1,099	2,086	57.05	59.53	58.33	62.12
管内計	78,274	82,257	160,531	30,713	33,337	64,050	39.24	40.53	39.90	42.85
県計	829,124	877,558	1,706,682	336,322	362,413	698,735	40.56	41.30	40.94	43.28

ウ 長野県県議会議員一般選挙（令和5年4月9日執行）

区分	当日の有権者数			投票者数			投票率（％）			参考 〔前回〕 H31
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
上田市	61,243	64,761	126,004	26,437	28,540	54,977	43.17	44.07	43.63	46.68
東御市	12,021	12,294	24,315	6,235	6,484	12,719	51.87	52.74	52.31	-
長和町	2,489	2,514	5,003	1,379	1,357	2,736	55.40	53.98	54.69	58.22
青木村	1,710	1,832	3,542	1,084	1,162	2,246	63.39	63.43	63.41	66.70
管内計	77,463	81,401	158,864	35,135	37,543	72,678	45.36	46.12	45.75	47.67
県計	585,145	620,859	1,206,004	261,880	274,382	536,262	44.75	44.19	44.47	47.57

(2) 選挙人名簿登録者数（令和5年3月1日現在）

区 分	選挙人名簿登録者数			在外選挙人名簿登録者数		
	男	女	計	男	女	計
上田市	62,239	65,619	127,858	51	68	119
東御市	12,187	12,471	24,658	14	7	21
長和町	2,508	2,545	5,053	4	3	7
青木村	1,732	1,853	3,585	2	2	4
管内計	78,666	82,488	161,154	71	80	151